

## 第 26 回基本政策部会 議事要旨

### 1 日 時

令和 4 年 10 月 21 日（金）10:00～11:30

### 2 場 所

中央合同庁舎 4 号館 12 階 全省庁共用 1208 特別会議室

### 3 出席者

#### (1) 委 員

白坂部会長、常田部会長代理、青木委員、石田委員、臼田委員、片岡委員、栗原委員、篠原委員、松井委員、南委員、山崎委員

#### (2) オブザーバ

宇宙航空研究開発機構（JAXA） 石井理事

#### (3) 事務局

宇宙開発戦略推進事務局 河西事務局長、滝澤参事官

#### (4) 関係省庁

文部科学省研究開発局宇宙開発利用課 上田課長

#### (5) 説明者

宇宙航空研究開発機構（JAXA）宇宙輸送技術部門事業推進部 佐藤部長

### 4 議事要旨（○：意見等）

石田委員から資料 1 に基づいて説明、文部科学省及び JAXA から資料 2-1～2-2 に基づいて説明。委員から、以下の意見があった。

#### <宇宙をめぐる最近の状況について>

- 各国の宇宙産業政策について、それぞれ政府と民間の役割が異なるが、日本はどのモデルを参考にするのが適しているか、具体的な議論を行うことが必要。
- 安全保障と民生は複雑に絡み合うようになってきている。海外の市場に進出するにあたり、今後、サイバーセキュリティやセキュリティクリアランス等のセキュリティについて、将来的に大きな課題になるので、世界に通用するレベルにするよう対応が必要。
- 宇宙産業を通じて、社会課題の解決や他産業への波及効果を与えることが重要。
- 宇宙産業への投資は大きく躍進したが、これまで政府系機関がリードし、民間の投資が増えてきたものと認識。今後投資を更に促進させるために、宇宙産業への投資は金額も大きく投資期間も長いことから、政府として取組を強化していくことが重要。
- 先進的な技術や我が国として有すべき技術等を開発するための戦略を持つことが重要、誰がその役割を担うのか、どのような予算面の措置が求められるのか、持続可能な仕組みを構築して継続していくことが必要。

<イプシロン6号機の打上げ結果について>

○ 詳細な原因究明やその対応策、また影響について、調査を続けて欲しい。